

令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	1015	事業名	観光総務事業			
所属名	観光コンベンション局 観光振興課	評価責任者	観光振興課長 大参 孝彰			
		作成責任者	石川 恭子	ダイヤルイン	052-954-6134	
政策名	内外交流の拡大		施策名	観光客の誘致		
事業目的	観光コンベンション局の人件費及び研修旅費等に関する事務を行うことにより、観光振興行政の円滑な運営を図る。					
根拠法令・計画等	職員の給与に関する条例等					
従事人員・経費等	区分	予算額		決算額(C/F)		
		5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	7.60人(0人)	7.60人(0人)	7.60人(0人)	6.60人(0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)	1人(0人)
	経費	人件費(a)	71,953千円	74,082千円	81,199千円	71,867千円
		事業費(b)	9,902千円	7,442千円	4,762千円	4,561千円
		公債費(c)	0千円	0千円	0千円	0千円
		計(a)+(b)+(c)	81,855千円	81,524千円	85,960千円	76,428千円
	収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		0千円	0千円	0千円	0千円
	経費のうち、一般財源等		81,827千円	72,507千円	85,766千円	76,408千円
事業計画の内容及び事業費の内訳	観光コンベンション局の人件費及び研修旅費等に関する事務を行う。 1 管理事務費:10,262千円					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式／解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	県民当たりコスト (PL経常費用／本県人口)	最終目標	-	(見込)
				5年度	-	(実績)
		2		最終目標		(見込)
				4年度		(実績)
		3		最終目標		(見込)
				4年度		(実績)
		4		最終目標		(見込)
				4年度		(実績)
		5		最終目標		(見込)
				4年度		(実績)
		外部要因等	なし			
		目的の達成に関する評価	ー:評価なし(判断の理由) ◎主要な指標:1(理由:管理事業全体を評価するのに最適な指標であるため)			
		コスト指標の増減分析	4年度の県民当たりコストは、管理事務費の増等により、3年度9円に比べ3円増加した。			
		課題	効率的かつ適正な執行を図りつつ事業を行う必要がある。			
今後の方向性	より効率的で適正な事業の執行に努める。					

*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	1053	事業名	愛知県国際展示場管理運営事業			
所属名	観光コンベンション局国際観光コンベンション課国際展示場室	評価責任者	国際展示場室長 鈴木 太郎			
		作成責任者	荒井 滋規	ダイヤルイン	052-954-6856	
政策名	内外交流の拡大		施策名	観光客誘客とイベント・コンベンション等の誘致		
事業目的	愛知県国際展示場で開催される展示会・催事等を通じ、新たな交流による新産業の創出や既存産業の充実など、本県産業基盤の強化を図る。					
根拠法令・計画等	愛知県国際展示場条例、愛知県国際展示場管理規則、愛知県国際展示場の使用料の細目料金等に関する告示、あいち観光戦略2021-2023					
従事人員・経費等	区分	予算額		決算額(C/F)		
		5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	9.80人(0人)	9.80人(0人)	9.80人(0人)	8.80人(0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)
	経費	人件費(a)	92,781千円	95,526千円	96,132千円	86,155千円
		事業費(b)	38,404千円	71,279千円	49,309千円	94,198千円
		公債費(c)	2,239,382千円	2,247,520千円	2,248,259千円	2,254,633千円
		計(a)+(b)+(c)	2,370,567千円	2,414,325千円	2,393,700千円	2,434,986千円
	収入のうち、受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		0千円	0千円	2,933千円	2,920千円
経費のうち、一般財源等		2,370,567千円	2,392,569千円	2,364,574千円	2,351,915千円	
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>愛知県国際展示場を管理し、新たな交流による新産業の創出や既存産業の充実など、本県産業基盤の強化を進める事業を行う。</p> <p>1 管理運営事業費:38,404千円(コンセッション事業運営支援業務費 19,884千円)</p>					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式／解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	運営体制監理(モニタリングの実施)	最終目標	月1回報告	
				5年度	月1回報告	月1回報告 (見込)
				4年度	月1回報告	月1回報告 (実績)
				最終目標	年1回開催	
		2	運営体制監理(第三者機関による会議の開催)	5年度	年1回開催	年1回開催 (見込)
				4年度	年1回開催	年1回開催 (実績)
				最終目標	-	
				5年度	-	- (見込)
		3	県民当たりコスト(PL経常費用/本県人口)	4年度	-	240円 (実績)
	最終目標					
	4		5年度		(見込)	
			4年度		(実績)	
	5		5年度		(見込)	
			4年度		(実績)	
外部要因等	なし					
目的の達成に関する評価	<p>B:目標達成(判断の理由)</p> <p>◎主な指標:1(理由:展示場の運営においてガバナンス維持が欠かせないため)</p> <p>・モニタリング基本計画及びモニタリング実施計画に基づき、目標どおり月1回モニタリングを実施した。</p> <p>・モニタリング基本計画に基づき、目標どおり年1回の第三者機関による会議を開催した。</p>					
コスト指標の増減分析	4年度の県民当たりコストは、人件費の増等により、3年度215円に比べ、25円増加した。					
課題	施設のより一層の利用促進により、収益性を向上させる必要がある。					
今後の方向性	引き続き、適切なガバナンス体制を維持し、コスト削減と利用促進を図りながら運営を行う。					

*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	1140	事業名	観光振興事業			
所属名	観光コンベンション局 観光振興課	評価責任者	観光振興課長 大参 孝彰			
		作成責任者	石川 恭子	ダイヤルイン	052-954-6134	
政策名	内外交流の拡大		施策名	観光客の誘致		
事業目的	観光振興によって地域が持つ可能性と潜在力を引き出し、多面的に愛知の成長を加速させ、魅力ある地域社会の実現及び県民生活の向上に寄与					
根拠法令・計画等	観光立国推進基本法、愛知県観光振興基本条例(平成20年10月14日条例第48号)、あいち観光戦略2021-2023					
従事人員・経費等	区分	予算額		決算額(C/F)		
		5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	17.80人(0人)	15.80人(0人)	15.80人(0人)	16.80人(0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	1人(0人)	1人(0人)	1人(0人)	0人(0人)
	経費	人件費(a)	171,751千円	157,311千円	156,539千円	163,259千円
		事業費(b)	725,672千円	632,169千円	17,909,335千円	3,916,001千円
		公債費(c)	35,819千円	36,479千円	38,550千円	75,962千円
		計(a)+(b)+(c)	933,242千円	825,959千円	18,104,424千円	4,155,222千円
	収入のうち、受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		2,136千円	1,482千円	1,447千円	921千円
	経費のうち、一般財源等		790,871千円	628,099千円	642,721千円	584,178千円
事業計画の内容及び事業費の内訳	観光振興の推進のため、あいち観光戦略に基づき、国内観光事業の振興等を行う。 1 あいち観光戦略推進費:21,612千円(あいち観光戦略実態調査費9,409千円) 2 あいち「ツウ」リズム推進事業費:8,730千円 3 武将観光情報発信事業費:78,573千円(忍者観光創出事業費60,228千円) 4 観光地域活性化支援事業費:117,625千円(観光需要平準化促進事業費96,625千円) 5 ジブリパーク周遊観光促進事業費:135,700千円 6 大河ドラマ活用誘客促進事業費:100,504千円 7 愛知観光プラットフォーム推進事業費負担金:76,579千円					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	観光入込客数	最終目標	1億2,000万人回	
				5年度	1億2,000万人回	1億2,000万人回 (見込)
		4年度	1億人回	9,363万人回 (実績)		
		2	経済効果(観光消費額)	最終目標	1兆円	
				5年度	1兆円	1兆円 (見込)
		4年度	8,000億円	6,997億円 (実績)		
		3	県民当たりコスト(PL経常費用/本県人口)	最終目標	-	
				5年度	-	- (見込)
		4年度	-	2,403円 (実績)		
4		最終目標				
		5年度		(見込)		
4年度		(実績)				
5		最終目標				
		5年度		(見込)		
4年度		(実績)				
外部要因等	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数及び経済効果(観光消費額)が目標値を下回った。					
目的の達成に関する評価	C:相当程度進展あり(判断の理由) ◎主要な指標:2(理由:管理事業全体を評価するのに最適な指標であるため) ・様々な観光振興事業の実施により、管理事業全体としては、相当程度進展があった。 ・観光消費額は、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値には届かなかったものの、3年度実績4,502億円の1.6倍に増加した。					
コスト指標の増減分析	4年度の県民当たりコストは、新型コロナウイルス感染症対策事業費(観光消費喚起事業費)の増加等により、3年度541円に比べ1,862円増加した。					
課題	愛知県は多種多様な観光資源を有し交通ネットワークに優れるなどポテンシャルは高いものの、観光地としての認知度は高いといえない。観光客数は、他の大都市圏や観光県として認知度の高い地域と比して劣位である。					
今後の方向性	「あいち観光戦略」に基づき、愛知ならではの歴史、産業、自然、文化等の地域資源を活かした観光プロジェクトに取り組んでいく。					

*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	1150	事業名	国際観光コンベンション推進事業			
所属名	観光コンベンション局 国際観光コンベンション課	評価責任者	国際観光コンベンション課長 多田 花緒里			
		作成責任者	渡邊 茜	ダイヤルイン	052-954-6373	
政策名	内外交流の拡大		施策名	観光客誘客とイベント・コンベンション等の誘致		
事業目的	観光振興によって地域が持つ可能性と潜在力を引き出し、多面的に愛知の成長を加速させ、魅力ある地域社会の実現及び県民生活の向上に寄与					
根拠法令・計画等	観光立国推進基本法、愛知県観光振興基本条例(平成20年10月14日条例第48号)、あいち観光戦略2021-2023、展示会産業振興基金条例					
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)	
			5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	18.20人 (0人)	17.20人 (0人)	17.20人 (0人)	17.20人 (0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	1人 (0人)	1人 (0人)	1人 (0人)	1人 (0人)
	経費	人件費(a)	175,538 千円	170,958 千円	169,229 千円	164,266 千円
		事業費(b)	512,525 千円	263,336 千円	129,569 千円	121,727 千円
		公債費(c)	43,011 千円	43,478 千円	43,481 千円	43,897 千円
		計(a)+(b)+(c)	731,074 千円	477,772 千円	342,278 千円	329,890 千円
収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		173 千円	173 千円	190 千円	59 千円	
経費のうち、一般財源等		505,877 千円	305,770 千円	301,620 千円	290,720 千円	
事業計画の内容及び事業費の内訳	外国人の誘客、大規模なコンベンションの誘致及び開催支援、全国通訳案内士の登録等の事業を行う。 1 国際観光推進事業費:5,226千円(一般社団法人中央日本総合観光機構負担金 3,000千円) 2 アジア観光客誘致促進事業費:9,878千円(アジアFIT向け観光プロモーション事業費 7,883千円) 3 中部国際空港観光案内事業費:2,993千円(中部国際空港観光案内実施協議会負担金 1,811千円) 4 国際会議等誘致推進事業費:16,519千円(愛知・名古屋MICE推進協議会負担金 7,026千円) 5 ハート・オブ・ジャパン誘客促進事業費:46,610千円(情報発信強化事業費 24,461千円) 6 外国人旅行者受入環境整備促進事業費:5,499千円(多言語コールセンター運営事業費 5,499千円) 7 外国人旅行者誘致強化事業費:9,600千円(海外観光レップ事業費 9,600千円) 8 アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進事業費:31,613千円(一般旅行者向け情報発信事業費 17,148千円) 9 日台観光サミット推進費:32,765千円(日台観光サミット推進費 32,765千円) 10 次世代産業展示会開催費:38,912千円(次世代産業展示会開催費負担金 38,430千円) 11 高級ホテル立地促進事業費:100,653千円(事業費補助金 100,000千円) 12 展示会産業振興基金事業費:212,257千円(官民連携組織運営費負担金 178,844千円)					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式／解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	外国人観光消費額	最終目標	2,500億円	
				5年度	2,500億円	1,544億円 (見込)
		4年度	20億円	7.5億円 (実績)		
		2	外国人来県者数	最終目標	290万人	
				5年度	290万人	186万人 (見込)
		4年度	2万人	- (実績)		
		3	国際会議開催件数	最終目標	220件	
				5年度	220件	167件 (見込)
		4年度	5件	31件 (実績)		
	4	県民当たりコスト (PL経常費用／本県人口)	最終目標	-		
			5年度	-	- (見込)	
4年度	-	39円 (実績)				
5		最終目標	-			
		5年度		(見込)		
4年度		(実績)				
外部要因等	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により必要な統計調査を実施できなかったため、4年度は欠測しており一部の指標の実績値がないものの、10月まで海外からの入国制限が緩和されていなかったため、訪日外国人旅行者数は感染症拡大前に比べ大幅に少なかったと考えられる。					
目的の達成に関する評価	D:進展が大きくない(判断の理由) ◎主要な指標:1(理由:管理事業全体を評価するのに最適であるため。) ・主要な指標の達成率が70%未満、その他の指標の平均達成率が80%未満であり、管理事業全体としてはE評価であったが、外部要因等の影響が大きいため、4年10月の入国制限緩和以降、訪日外客数は増加を続けているため、現行の取組を継続しても目標を達成する見込みがないとは言いきれず、目標達成には相当な期間を要するためD評価とした。					
コスト指標の増減分析	4年度の県民あたりコストは、3年度39円と同額であった。					
課題	4年10月の入国制限緩和以降、訪日外国人旅行者数は右肩上がりが増え続けているが、未だ感染症拡大前の水準には及ばないことから、積極的な誘致プロモーションを実施していく必要がある。					
今後の方向性	アジア市場を主要なターゲットとするほか、欧米豪市場もターゲットとし、訪日外国人旅行者数の急激な増加を見込み、訪日需要を取り込むための事業を積極的に実施していく。受入環境の整備についても引き続き、取組を進めていく。					

*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	1160	事業名	犬山国際ユースホステル管理運営委託事業				
所属名	観光コンベンション局 観光振興課	評価責任者	観光振興課 大参 孝彰				
		作成責任者	梶田 理恵	ダイヤルイン	052-954-6354		
政策名	内外交流の拡大		施策名	犬山国際ユースホステルの管理運営			
事業目的	県内及び県外からの観光客等、施設利用者の利便の一層の向上を図るとともに、施設の適切な管理運営を図る。						
根拠法令・計画等	愛知県観光施設条例(昭和39年3月27日条例21号)						
従事人員・経費等	区分	予算額		決算額(C/F)			
		5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度		
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	0.60人(0人)	0.60人(0人)	0.60人(0人)	0.60人(0人)	
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)	
	経費	人件費(a)	5,680千円	5,849千円	5,788千円	5,704千円	
		事業費(b)	8,072千円	11,204千円	11,204千円	16,827千円	
		公債費(c)	27,248千円	30,773千円	30,773千円	30,889千円	
		計(a)+(b)+(c)	41,000千円	47,826千円	47,765千円	53,421千円	
収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		467千円	467千円	468千円	468千円		
経費のうち、一般財源等		40,533千円	47,359千円	47,297千円	47,330千円		
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>国内外からの観光旅行者等のレクリエーションの場として利用されている県営観光施設「犬山国際ユースホステル」について、指定管理者制度を導入し、円滑で効率的な管理運営を行う。</p> <p>○指定管理者:(一財)日本国際ユースホステル協会(公募により選定)</p> <p>○指定期間:令和5年度～令和9年度</p> <p>1 犬山国際ユースホステル管理運営委託事業費:8,072千円(うち指定管理料 6,170千円)</p>						
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込		
		1	施設利用率 (宿泊者数/定員総数)	最終目標	32.50%		
				5年度	29.10%	(見込)	
				4年度	37.00%	18.00% (実績)	
		2	利用者当たりコスト(PL経常費用/施設利用者数)	最終目標	-	-	
				5年度	-	-	(見込)
				4年度	-	5,643円	(実績)
		3		最終目標			
				5年度			(見込)
				4年度			(実績)
		4		最終目標			
				5年度			(見込)
				4年度			(実績)
		5		最終目標			
				5年度			(見込)
4年度					(実績)		
外部要因等	新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊者数が減少し、施設利用率が目標値を下回った。						
目的の達成に関する評価	<p>D. 進捗が大きくない (判断の理由)</p> <p>◎主要な指標:1(理由:指定管理選定時の目標値)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊者数が減少し、主な指標である施設利用率は18%となっており、指標が目標を下回っているが、3年度に比べ宿泊者数が3,104人増加するなど、目標達成に向け進展があることから、D評価とした。</p>						
コスト指標の増減分析	4年度の利用者当たりコストは、事業費の減等により3年度16,368円に比べ10,725円減少した。						
課題	引き続き利用率を上げるための取組が必要である。						
今後の方向性	指定管理者である「一般財団法人日本ユースホステル協会」は全国的な組織であり、ノウハウやネットワークを活かした運営による利用促進を期待する。						

*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。